

家具をトドマツでつくりました

一般社団法人北海道林産技術普及協会 専務理事 植 杉 雅 幸

URL <http://rinsan-fukyu.jp>

テーブルや椅子はどこを見渡しても必ず私たちの周りにあるものです。その形態や色彩には色々なものがありますが、何の不思議もなく、これがテーブルや椅子なんだと思いついています。例えば、当普及協会の事務机を見るとミズナラでできた重厚な感じですが、レストランや食堂へ行くと、馴染みのある素材感のテーブル、椅子が並んでいます。各家庭でも広葉樹材を用いた落ち着いた感じのあるダイニングキッチンのテーブル、椅子などが馴染みだと思えます。

このような中であって、どうして針葉樹を用いた家具はないのだろうかと思ったことはないでしょうか。おそらく大抵の人は思っているかもしれません。そのあたりを家具製造の方に尋ねたら、もの見事に分かりやすい答えをいただきました。強度の問題、柔らかく傷が付きやすい、黄変する等々、やはり広葉樹材のようにはいかない現実があります。しかしながら、今までと同じようなモノを作るのではなく、針葉樹素材だからこそ使えるような新たなデザインの家具を作る必要性を感じているようです。その背景には、家具に使えるような国産材広葉樹資源の減少などがあります。一方、昭和の拡大造林期に植栽された人工林資源が収穫期を迎えつつあります。大量に市場に出てくる人工林材が少しでも高価格で利用されるなら、森林所有者、生産者共に喜ばしいことだと思えます。



(色の白さが特徴のトドマツ材)

そこで、北海道の木であるトドマツの新たな利用の可能性を探るため、上川地域水平連携協議会が林野庁補助事業(平成26年度補正予算地域材利用拡大事業の

木製家具等を対象とする者)でトドマツの家具を製造し、地域材の利用促進を図ることにしました。その事業内容を幾つか紹介したいと思います。

1 事業計画

北海道の主要樹種であるトドマツの特徴(柔らかさ、白身、加工性)を活かした家具を開発し、実用性を向上するための検討を行いながら、安定的な供給体制の形成を図る。

(1) 「地域材を利用したモデル的な家具の開発等企画委員会」

10月末の事業完了までに5回の企画委員会を開催しました。

その中では一般家庭よりもハードな環境で使用される店舗用のテーブルや椅子を製作するためのデザインの検討をし、トドマツ無垢材、トドマツ圧密材、広葉樹材との組み合わせ等の企画を行いました。このテーブル、椅子は東京新丸の内ビル7階の丸の内ハウスレストラン「musmus」にモニターとなっていただき、使用してもらうことにしました。また、同ビルで開催する普及展示会内容の検討を行いました。さらに、この展示会で配布する針葉樹総合パンフレット、普及用紹介動画、パネル製作、トドマツ建材(壁、床、天井桟木等)の製作検討、企画を行いました。



(丸の内ハウスの普及展示会)

(2) トドマツ家具の製作

実際に製作したトドマツ家具の椅子46脚、テーブル17台を丸の内ハウスレストランに設置しまし

た。ここでは2年間モニターとしての評価をいただくことにしています。この情報を基に一部デザインを変えながら、より良いものを開発して将来の販路開拓につなげることを考えています。



(トドマツテーブル)



(トドマツ椅子)



(トドマツ椅子)



(丸の内ハウスレストランへ設置)

(3) 普及事業「Todo Fir普及展示会」

丸の内ハウス共有スペースで、10月5日～11日までの1週間「Todo Fir普及展示会」と銘打ってイベントを開催しました。その内容はトドマツ一色の「トドマツ物語」です。初日のトドマツ苗木の無料配布、トドマツオイルの抽出、トドマツ丸太皮むき、トドマツ建材のPR、動画上映、パネルによる普及、アンケート調査などを行いました。期間中

約500人もの方々に来場いただきました。大都会の中で木や木材がある一角は、まさに大きな癒しを与えることができたと思っています。



(展示会のようす)



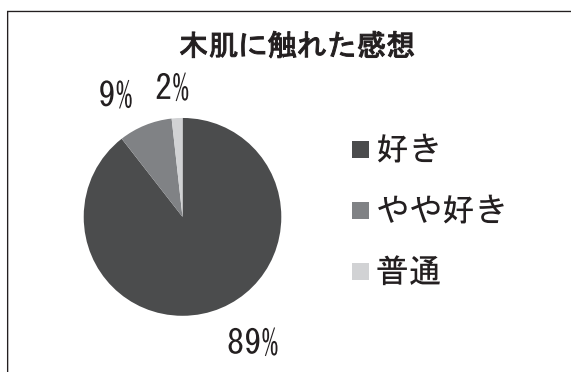
(展示会のようす)

期間中行ったアンケート調査を分析した結果、北海道の木トドマツに高い評価をいただくことができました。その内容を幾つか紹介します。

- ①性別は女性が約6割を占めました。
- ②年齢構成では40代以上が6割を占め、10～30代はほとんどが女性でした。このことから、木に癒し等を求めることについては、女性のすべての年代で関心の高さがうかがわれました。
- ③トドマツの名前を知らない人は少なく、概ね知っていたようでした。
- ④トドマツについて、白い木肌の色、木の感触は9割以上の方に好まれました。
- ⑤トドマツを今後何に使ってみたいかでは、住宅の場合は家具材としてが一番多く、色の白さなどの見た目の印象が今までの家具にない新鮮さを与えたためではないかと思われました。また、壁材、床材も大差なく、全体的に使ってみたいと受け入れていただきました。
- ⑥内壁材として使いたい場所は居間が半分以上を占め、子供部屋、キッチンと続き、トドマツ素材の持

つ見た目や木肌の色等が評価されました。また、床材としては同じく居間が一番多く、子供部屋、キッチンと続きましたが、その他として寝室や地下室に使いたいとの希望もありました。このことは、すべての部屋でなくとも、ある決めた部屋に使うなど一部でも使っていただける大きな可能性を見出すことができました。

- ⑦家具材としては、テーブル、椅子に使いたいという意見が7割以上を占め、家具への利用が期待されていることが分かりました。
- ⑧店舗・会社では壁、床、家具ともに大差なく、色々な場面で使っていただける可能性が分かりました。
- ⑨壁材では内壁での使用が大半でした。床材では客席部が6割を占め、次にトイレ、厨房でありましたが、少数意見では天井に使いたいという希望があり、店舗、会社内での癒し効果、来客に対する癒し効果を与える期待があることがうかがわれました。
- ⑩家具材ではテーブルが多く、椅子、棚も大差なく使用希望があり、店舗什器などを含めてこれからのトドマツ利用拡大には大きな希望が持てると確信しました。
- ⑪自由意見では木の香り、手触りなどの高評価が多くありました。



(アンケート分析のグラフ(抜粋))

(4) 「トドマツを体験する1日」

「Todo Fir普及展示会」中の10月10日(土)に、「トドマツを体験する1日」を実施しました。その中では、“トドマツ蒸留アロマオイル抽出体験”“北海道の森の木皮むき体験”“森のおはなし”を行いました。約130名ほどの来場者がありました。丸の内ハウスに程よく漂うトドマツの香りに誘われて来た人が多く、事前申し込みの方を含めてひと時の癒しを与えることができたと思っています。そしてこの1日にトドマツへの理解をより深めていただいたと思っています。



(「体験する1日」アロマオイル抽出)



(「体験する1日」削り馬の皮むき)

今回の補助事業で得た成果は、これからの水平連携協議会活動に反映させ、より充実したトドマツ材の普及、そして販路へと結び付けていきたいと考えています。それにしても、今までは家具に不向きとされていたトドマツでしたが、その素材特有の色の白さや暖かみを感じさせながら圧密材と調和の取れたテーブル、椅子については座面や背面にトドマツ材の特徴を見せ、広葉樹と組み合わせることで強度面の克服を図ることができました。

今後は、これら製品の供給体制、価格設定、バリエーションの充実を図りながら、トドマツの良さを普及し続けます。また、地域材の供給体制をしっかりと確立し、安定的で良質なトドマツ製品を提供したいと考えています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。